

みどりの杜俳句会

金木犀香り静かな山の家

栗飯の栗つまみつつ晩酌す

仏壇の大輪百合バット咲き

佐山けさ子

岩崎 真人

明るい彼岸がゆつくりときた

金木犀大樹の強き香りかな

足もとの蟬俄か飛び朝の畑

吾亦紅母に例ふる人も有れば

鈴木 啓子

野口利江子

己に重ねて見る時もある

田んぼ道踏めばいなこの飛び上がる

川沿ひの栃の実拾ひ子の笑顔

日没の早まり映の夕暮に

高橋 ツ子

関口 侑子

坂本 美江

金木犀香りに引かれ曲り角

椿の実皮つやつやと重さあり

気はあせれども歩み進まぬ

田村 好子

山田 美子

白石 礼子

満月の前を白雲流れけり

しその実の香る指先あくに染む

器からこぼれし餌より食べはじむ

馬場 芳

土屋 厚子

過去の苦勞の野良猫いとし

色の良き秋茄子焼いて味の良し

稲架掛けの穂先啄む雀かな

渡邊阿里子

梅沢きくえ

初雁 功子

山裾のフェンスに掛かりあげびの実

通学の背の伸び後の更衣

大竹 祐也

西 つる

長袖の上衣取り出し秋の雨

金木犀挿して空気の一変す

朝顔の垣に巻きつき蕾あり

小林 一樹

木本 弘子

岡部富美子

赤蜻蛉ばらの新芽に来て止まる

ひまわりの円を描きて種揃ふ

小宮 勉

吉田 愛子

渡邊美枝子

ひまわりの円を描きて種揃ふ

小宮 勉



白石短歌会

人権シリーズ

「雑感」

令和3年6月に「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律の一部を改正する法律」が施行されました。女性が政治活動をする際に、有権者や他の議員からセクハラ、マタハラを受ける事態をこれ以上放置できないとの思いで、女性議員が中心となりこの法改正の活動を行ってきました。そもそも、セクハラ・パワハラは重大な人権侵害です。

改正法の趣旨を尊重するならば、国や自治体は、研修の実施や相談体制の整備、実行性のある措置を早急に講じなければならぬ事態となりました。本村も実態調査を行い、優越的立場を有する者が自分の部下に高圧的言動・指示を行うセクハラ・パワハラが発生しているか確認する必要があります。世間では、議員が、街頭演説で待ち伏せされて家までついて来られる、SNSで性的なメッセージや画像を送られる、同僚議員や有権者に体を触られる、などが起きています。候補者や議員は、顔や名前をさらして活動します。有権者や支持者からの被害は公表しにくく、泣き寝入りする場合があります。

身近な例では、川越市議会が、市議からのハラスメントを受けた市職員の申し入れを機に、平成31年3月、「市議会ハラスメント根絶条例」を制定しました。セクハラ・パワハラ・職員への誹謗中傷などをハラスメントと定義し、議員への研修実施も盛り込まれ、議員の意識を高め、ハラスメントの根絶を目指すこととされています。

今回の法改正は、議会の健全化を図る点で意義があり、ハラスメント防止の観点から条例制定や議員の研修を重ねることで、新たに参画する人にとって議会が魅力的な組織になるでしょう。私もセクハラ・パワハラを起こさないよう厳に言動行動を慎み、議会人としての矜持をもってこれからは歩みたいと思います。

東秩父村議会議員 栗島廣行